

外国語(英語)問題用紙 (1 / 2)

受験番号	
氏名	

↓ 次の英文の全文を日本語に訳しなさい。

(London, M. (2011). "Trends and Directions for Lifelong Learning Programs and Research." In M. London (ed.), *The Oxford Handbook of Lifelong Learning*, New York: Oxford University Press, p.493, より抜粋)

外国語(英語)問題用紙 (2 / 2)

受験番号	
氏名	

II 次の英文の全文を日本語に訳しなさい。

(Callewaert, S. (1999). "Philosophy of Education, Frankfurt Critical Theory, and the Sociology of Pierre Bourdieu." In T. S. Popkewitz and L. Fendler (eds.), *Critical Theories in Education: Changing Terrains of Knowledge and Politics*, New York and London: Routledge, p.118, より抜粋)



外国語(日本語)問題用紙 (1 / 2)

受験番号	
氏名	

I

次の文章を読んで、下の問いに日本語で答えなさい。

(出典：サミール・オカーシャ著、廣瀬覚訳『1冊でわかる 科学哲学』岩波書店、2008年、156頁9行目～157頁17行目より)

- 問1 下線部①～⑤の読み方をひらがなで書きなさい。
- 問2 下線部(A)「出る幕などない」とはどのような意味か、説明しなさい。
- 問3 下線部(B)について「何も困ることはない」と考えられるのはなぜか。本文に即して説明しなさい。
- 問4 下線部(C)「科学帝国主義」とはどのような立場を指すか。本文に即して説明しなさい。



外国語(日本語)問題用紙 (2 / 2)

受験番号	
氏名	

II

次の文章を読んで、下の問いに日本語で答えなさい。

(出典：重松鷹泰『教育方法論Ⅲ 学習指導』明治図書、1975年、200頁16行目～202頁19行目、一部改変)

- 問1 下線部①～⑤の読み方をひらがなで書きなさい。
- 問2 下線部(C)の「一朝一夕」の意味を説明しなさい。
- 問3 下線部(B)について、なぜ筆者は「適当な広さの活動の場所を与えること」が必要であると考えているのか、説明しなさい。
- 問4 下線部(A)に示されている雰囲気について、その形成を妨げる教師の要因を、本文に即して述べなさい。

教育科学 問題用紙（1 / 4）

受験番号	
氏名	

以下の21領域の中から、各自の志望研究領域を含む2領域を選択し、日本語で解答しなさい。

解答に際しては、1領域あたり解答用紙1枚で解答することとし、選択した領域名を、解答用紙の所定の欄に必ず記入しなさい。また、問題用紙と解答用紙のすべてに受験番号と氏名を記入しなさい。試験終了時に、問題用紙と解答用紙はすべて回収する。

[教育史領域]

次のうち、いずれか一問を選んで解答しなさい。

1. 日本教育史の代表的な通史を取り上げ、そこで採用されている時期区分について説明したうえでその特質を論述しなさい。
2. 教育史における日常史研究の意義について西洋教育史の観点から論述しなさい。

[教育行政学領域]

教育と教育行政の関係について、この関係が問われる事例をあげ、またその当為と現実を区別しつつ論じなさい。

[社会・生涯教育学領域]

2015年12月、中央教育審議会答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」が出され、学校と地域の連携・協働の仕組みや方策が改めて示された。このような学校と地域の連携・協働についての動向や歴史的経緯を踏まえ、子どもの学びや地域づくりにおける学校と地域の連携・協働の在り方について論じなさい。

[技術教育学領域]

戦前日本における手工科の成立と展開過程について、その意義と問題点について論じなさい。

[職業・キャリア教育学領域]

日本におけるキャリア教育の導入と展開過程の特徴と問題点について、論じなさい。

教育科学 問題用紙（2 / 4）

受験番号	
氏名	

[学校情報学領域]

すでに商品化され、今後の実用化が始まろうとしている量子コンピュータ(quantum computer)の動作原理を、今日広く一般に用いられている通常のデジタルコンピュータと比較しながら説明し、現在の開発段階について言及した上で、量子コンピュータが本格的に実用化されると、教育ではどのような有益な応用が可能になると考えられるかを論じなさい。

[カリキュラム学領域]

インターネット等による情報の高度化及びグローバル化が学校における知識のあり方や学び方に影響を及ぼしていると指摘されている。情報の高度化とグローバル化における教科書の機能・役割をその変容と持続性の両面から論じなさい。

[教育方法学領域]

問題解決学習をめぐる学術的な論争を取り上げ、これについて説明した上で、その論争の今日的な意義と課題を論じなさい。

[教育経営学領域]

近年、学校を「プラットフォーム」として位置づける議論が行われているが、その背景を述べ、論点を整理した上で、これにより学校経営がどのような影響を受けることになるのか論じなさい。

[教師教育学領域]

学校インターンシップや学校ボランティアなどの実施に当たって生じる大学の教職課程の変化の可能性を論じなさい。

教育科学 問題用紙（3 / 4）

受験番号	
氏名	

[人間形成学領域]

子どもに対する親の教育的配慮はどこまで正当化されうるか。現代リベラリズムの哲学的議論を踏まえて考察しなさい。

[教育人類学領域]

多宗教・多民族国家における学校暦（スクール・カレンダー）のあり方について、具体的な国・地域をとりあげて論じなさい。

[教育社会学領域]

量的調査と質的調査はそれぞれ、教育社会学の研究においてどのような役割を果たしてきたか。具体的に論述しなさい。

[比較教育学領域]

公教育におけるジェンダー区分について、特定の興味深い事例を取り上げ、比較の観点から論じなさい。

[大学論領域]

学士教育のプログラム化とはどのような意味か、それに関わる議論はどのような経緯で出てきたのか、それを日本の大学教育に導入する意義は何か、それを導入するために大学組織としてどのような対応が必要か、説明しなさい。

教育科学 問題用紙（4 / 4）

受験番号	
氏名	

[高等教育学領域]

大学設置基準の改定(2016年)により、スタッフ・ディベロップメント(SD)が義務化された。先に義務化されたファカルティ・ディベロップメント(FD)との関係に言及しつつ、SDの主な内容や義務化に伴う各大学の課題について、内容と課題を各3点述べなさい。

[生涯体力科学領域]

運動開始前のメディカルチェックの重要性について、年齢を考慮した具体例を示しながら説明しなさい。

[健康運動科学領域]

寒冷環境において運動する際の注意点について、理由を示しながら説明しなさい。

[スポーツマネジメント領域]

コンカッション・マネジメントについて、ワールドラグビー2016年時点の具体的方策を述べなさい。

[スポーツバイオメカニクス領域]

スポーツバイオメカニクスにおける表面筋電図の利用法について述べなさい。

[スポーツ生理学領域]

成長ホルモンが筋肥大に及ぼす影響について述べなさい。